

令和6年度東北農政局「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」選定地区

ビジネス・イノベーション部門				
No.	都道府県	市町村	地区名	取組の概要
1	岩手県	一関市	株式会社テクノボンズ	 <p>搾油の様子</p> <p>菜種・えごま・ひまわり・ぶどうなどの搾油加工受託。 地域の農家の収入増加に貢献。ワインの搾りかすから種を選別する作業は福祉施設の利用者に委託することで雇用増加。菜の花とひまわりの花で地域の観光資源の創出。</p>
2	宮城県	名取市	宮城県農業高等学校 農業経営クラブ	 <p>海のゴミ拾いボランティア</p> <p>プラスチックカプセル肥料の残骸による環境汚染を防止するため、ウレアホルムによる緩効性肥料を開発しプラスチック不使用の肥料を商品化。 肥料会社3社と連携し、新肥料を商品化。研究成果が各種コンクールで受賞したことや、SNSの情報発信により、消費者と生産者の意識を変えた。</p>
コミュニティ・地産地消部門				
No.	都道府県	市町村	地区名	取組の概要
3	青森県	黒石市	大川原地区棚田地域振興協議会	 <p>県無形文化財「大川原の火流し」</p> <p>大川原棚田地域の保全と農作物の付加価値向上に取組み、棚田を核として地域の振興を図る。 大川原棚田地域の景観の保全のため、農地を集約して若手耕作者を確保。耕作放棄地を協議会で維持管理保全管理を実施。 棚田米のブランド化と販路拡大。スマート農業で省力化し、耕作放棄地の解消。棚田を主軸とした広報媒体の制作やイベントの開催による交流人口の拡大。</p>
4	宮城県	東松島市	奥松島果樹生産組 いちじくの里	 <p>桃・イチジクの120本植樹</p> <p>のり養殖の閑散期に果樹栽培をする「半農半漁」を実施。 東日本大震災から復旧した農地の活用を目的に、稲作やのり養殖を営む8名が、担い手の見つからない農地で、桃・いちじくの栽培を開始。地元小学校や幼稚園への見学や無料桃狩り体験を通じた教育活動を実施。県内外の自治体、農業者の視察を受入れ。果樹栽培による収入の増加。体験による地域農業への関心の向上。</p>
5	宮城県	川崎町	株式会社 百	 <p>百の理念を体験できる「百のやど」</p> <p>建築の地産地消による宿泊施設の建設と食・エネルギーの地産地消の体験を実施。 食とエネルギーの地産地消を目指し、30代の移住者で株式会社百を設立。「みちのく川崎里山ツーリズム協議会・里山Joy!」の中核を担い、町内の事業者と連携して体験型ツアーの提供。宿泊者の増加。各種イベントへの参加者が増加することによる地域活性化に寄与。</p>

個人部門

No.	都道府県	市町村	地区名		取組の概要
6	福島県	南会津町	渡部 雅俊	 <p>地域住民共同での大堰水利確保作業</p>	<p>なかあらい大地を育む会代表として、地域の各団体と連携し地域の課題解決(少子高齢化、遊休農地の活用、鳥獣害対策)の解決に助力。集落に在住する若者層を「育む会」の役員として人材育成に務めている。ソバの種子を生産し所得向上に寄与。イノシシ・ニホンジカの被害が著しく減少。</p>